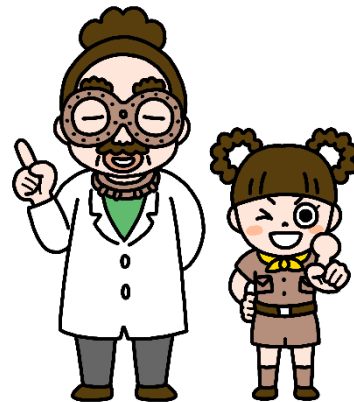




じょうもんまな  
縄文学びのガイド

きた じょうもんまな  
北の縄文を学ぼう！

じょうもん さか  
ビデオクリップ⑤～もっとも縄文が栄えたころ～



[ビデオクリップ 解説 \(三内丸山遺跡について\)](#) [1](#)

[ビデオクリップ 解説 \(大船遺跡について\)](#) [2](#)

[ビデオクリップ 解説 \(もっとも縄文時代が栄えたころの様子\)](#) [3](#)

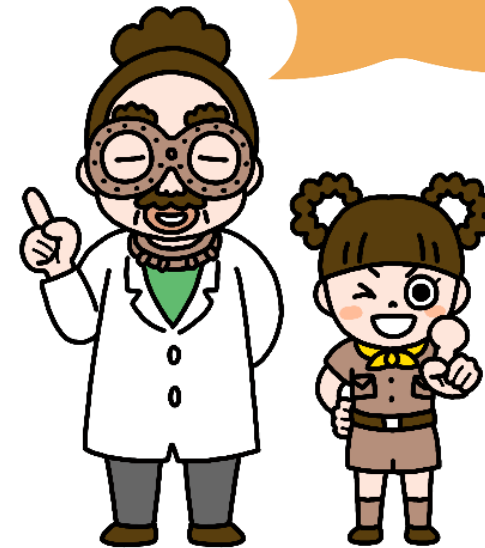
[ビデオクリップ⑤について調べられるところ](#) [4](#)

[ワークシート](#) [5](#)

[ワークシート \(答え\)](#) [6](#)

[指導者用ビデオクリップ解説](#) [7・8](#)

み  
見たいページのタイトルを  
クリックするとそのページ  
にジャンプできるよ！





# ビデオクリップ 解説 (三内丸山遺跡について)



三内丸山遺跡の場所

三内丸山遺跡の様子

青森県青森市にある三内丸山遺跡は、日本国内でも大規模な遺跡のひとつとして有名です。今から約5,900年前から4,200年前の約1,700年間続いた集落で、たくさんの人々が、集落にくらしていました。竪穴建物のあとが700以上、長さが32メートルもある大型の竪穴建物は集会所のような、一度に大人数が集まる建物だったと考えられています。

また、直径が1メートルもあるクリの木を6本も使い、巨大な建物を作っていました。この建物は、見はり台や儀式に使ったと考えられています。遺跡からは膨大な量の土器や石器などが出土しており、日本で最多となる約2,000点の土偶が発見されました。

参考：JOMONぐるぐる <https://jomon-japan.jp/kids/archives/category/tool/>







# ビデオクリップ 解説 (大船遺跡について)



たてあな たてもものあと ぼねぐみ ふくげん おおぶね いせき はだてし  
縦穴建物跡とその骨組の復元【大船遺跡 (函館市)】

## おおぶね いせき ばしょ 大船遺跡の場所

うみ べ たか たい うえ おおぶね いせき はだてし  
海辺の高台の上にある大船遺跡 (函館市) は、食べ物が豊富な山と海に挟まれています。遺跡  
からクリの実や木材が出土しますが、クリはもともと北海道にあった植物でなく、縄文人が  
た もの もくざい つか も  
食べ物や木材に使うために持ちこんだものです。

いせき けん いじょう たてあな たてもものあと ゆか ふか ほ こ おお たてももの おお  
遺跡からは100軒以上の縦穴建物跡がみつかっています。床を深く掘り込んだ大きな建物が多  
く、深さ2メートルを超えるものもあります。

また、掘り出した土と使わなくなった道具を積み上げた「盛土遺構 (もりどいこう)」から  
もクリなどをすりつぶした道具がたくさん出土しています。

出典・提供: JOMON ARCHIVES





# ビデオクリップ 解説 (もっとも縄文時代が栄えたころの様子)

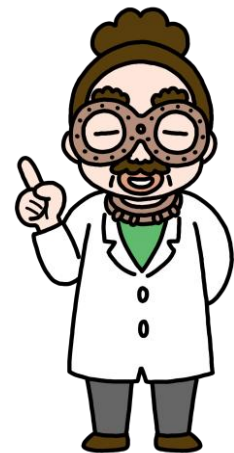


クリ林とすり石・石皿  
【大船遺跡 (函館市)】

今から約5,000年～4,000年までを、縄文時代の「中期」といいます。あたたかい気候が続き、食料も豊富だったことからくらしは安定していました。たくさんの方がまとまってくらす大集落ができたのも、この時期です。

三内丸山遺跡から発見されたクリの実を調べたところ、自然に生えている木のクリの実よりも大きいことが分かりました。このことから、縄文人は大きな実がなるように、クリの林を手入れしていたと考えられます。また、大船遺跡からもクリの実や木材が出土しますが、クリはもともと北海道にあった植物でなく、縄文人が食べ物や木材に使うために持ちこんだものです。

この頃の食生活を支えた重要な食料のひとつが、クリだということがわかります。







# ビデオクリップ⑤について調べられるところ



## ●函館市縄文文化交流センター

住所 函館市白尻町551-1

電話 0138-25-2030

公式HP [函館市縄文文化交流センター](http://www.iwanuma-jomon.jp/)

開館時間 4月～10月 9:00～17:00 / 11月～3月 9:00～16:30

休館日 月曜日 (祝・休日の場合は翌日)

毎月最終金曜日 / 年末年始 (12月29日～1月3日)

入館料 個人

大人300円、小・中学生・高校・大学生150円

団体(20名以上)

大人240円、小・中学生・高校・大学生120円

ホームページで  
詳しく調べて  
みよう!



## ●特別史跡「三内丸山遺跡」

住所 青森市三内字丸山305

TEL 017-766-8282

公式HP [三内丸山遺跡センター](http://www.sannai-maruyama.jp/)

開館時間 9:00～17:00

休館日 毎月第4月曜日 (祝日の場合は翌日)

12月30日～1月1日

入館料 一般410円、高校生・大学生等200円

中学生以下 無料



## ●御所野縄文公園

住所 二戸郡一戸町岩館字御所野2

TEL 0195-32-2652

公式HP [御所野縄文公園](http://www.onsono-jomon.jp/)

開館時間 9:00～17:00

休館日 月曜日 (祝日の場合は翌日)

祝日の翌日 (土日を除く)、年末年始

博物館展示室 入館料

一般300円、大学生200円

小学生・中学生・高校生 (18歳以下の方) 入館無料

## ●おすすめのページ

「三内丸山遺跡」<https://jomon-japan.jp/kids/learn/map/sannai-maruyama/>

「大船遺跡」<https://jomon-japan.jp/kids/learn/map/ofune/>



出典・提供:

JOMON ARCHIVES、函館市教育委員会、三内丸山遺跡センター、御所野縄文公園

# ワークシート

ねん 年  
くみ 組  
なまえ 名前

きた じょうもん まな  
北の縄文を学ぼう!

じょうもん さか  
ビデオクリップ⑤～もっとも縄文が栄えたころ～

① 「さんないまるやまいせき」と「おおふねいせき」を漢字で書いてみよう。

さん ない まる やま い せき

				遺	跡
--	--	--	--	---	---

おお ふね い せき

		遺	跡
--	--	---	---

② 「さんないまるやまいせき」と「おおふねいせき」についてわかったことをメモしよう。

さんないまるやまいせき

おおふねいせき

# ワークシート

こた  
答え

ねん 年  
くみ 組  
なまえ 名前

きた じょうもん まな  
北の縄文を学ぼう!

じょうもん さか  
ビデオクリップ⑤～もっとも縄文が栄えたころ～

- ① 「さんないまるやまいせき」と「おおふねいせき」を漢字で書いてみよう。

さん ない まる やま い せき

三	内	丸	山	遺	跡
---	---	---	---	---	---

おお ふね い せき

大	船	遺	跡
---	---	---	---

- ② 「さんないまるやまいせき」と「おおふねいせき」についてわかったことをメモしよう。

## さんないまるやまいせき

にほん だいひょう きょだい いせき たてあな  
日本を代表する巨大な遺跡。たくさんの竪穴  
たてもの しゅうかいじょ おおかた たてあな たてもの  
建物や集会所のような大型の竪穴建物があった。  
ちぞうあな どうろ せいかつ ひつよう しせつ  
貯蔵穴や道路といった生活に必要な施設あった。

## おおふねいせき

はこだてし だいきぼ いせき なが  
函館市にある大規模な遺跡。長さ10メートル、  
ふか やく おお たてあな  
深さが約2メートルという大きな竪穴がある。ク  
ジラやオットセイなど海の生きものや、マグロや  
うみ いき  
タラなどの魚の骨がたくさん見みつけた。





# 指導者用 | ビデオクリップ解説 (三内丸山遺跡)

名称	三内丸山遺跡 (さんないまるやまいせき)
時期	約5,900年前 (縄文前期) から約4,200年前 (縄文中期) ごろまで
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>集落には、竪穴建物、掘立柱建物、列状に並んだ土坑墓、埋設土器、盛土、貯蔵穴、道路、大型建物などが計画的に配置。</li> <li>ほかにも、木製品、骨角器、編籠、漆製品などの有機質遺物、さらに、ヒスイや遠隔地産の黒曜石、アスファルトなどの交易品も多数出土。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>江戸時代から土偶が出土することで知られていた (山崎立朴『永禄日記』)。</li> <li>野球場を作ろうとして調査した結果、遺跡が保存されて特別史跡になった</li> </ul>



三内丸山遺跡



ヒスイ



編籠 (縄文ポシエット)



# 指導者用 | ビデオクリップ解説 (大船遺跡)

名称	大船遺跡 (おおふねいせき)
時期	約5,500年前 (縄文前期) から約4,000年前 (縄文中期) ごろまで
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>大型の住居跡がみついている (深さ1.5~2メートル、長さ8~11メートル)</li> <li>遺構の密度が非常に高いことから、一定の場所で長く定住生活が営まれたことが分かる。</li> </ul>



大船遺跡



竪穴建物跡



出土した土器

出典 : JOMON ARCHIVES、北海道教育委員会